
ニートの涙

ねこたん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

一ートの涙

【Zコード】

Z5526D

【作者名】

ねこたん

【あらすじ】

世間なんかしらなかつた俺・・・死のうと思つた時にみてしまつたブログ。その大好きなブログの作者の「死にたい」の一言で俺は5年間でなかつた涙が止まなくなつた。(今、死のうと思つなら、この小説を読んでみてください。)

俺　　一ートだつた・・・

社会では僕達は、すばらしく嫌われた人種だった。

それでも、俺は部屋に引きこもるしかなかつた、パソコンやるしかなかつた・・・

親はこんな俺に話もかけてくれなかつた、友達もいなし。

寂しさが胸を支配し、世の中のことなんてなにも知らない。。。

どうしようもない気持ちが胸を苦しめた。

私は愛されているのだろうか？

それでさえわからなかつた・・・いや・・・わかっていた。だれも俺なんて愛しちゃくれない。

まるで永遠に海を知らない、水槽の中の魚の気分。

外には出たいが、その気力がない

毎日が矛盾していた・・・

涙も出なくなつたある日・・・ぼくは決意した。死のうと・・・

よく書き込んでいた掲示板サイトに、「死にます」と書き込んだ
だ・・・すると

「そうだ！ テメーなんざ！ 社会には必要ないんだよ！」

そんな返事が返ってきた・・・

ああー！ あらわせるー。

なにで死のうか考えた・・・・口一 プか?ナイフか?水か?

死ぬ方法なんていくらでもある・・・・俺はもう遡るよ！

悲しみに縛られた俺の人生を終わらせようと思つた。

もう準備はととのつた。いつでも死ねる。そう思つた。ロープとフックを手に入れたのだ……

最後にネットをしようとパソコンを起動した・・・

すると・・・

いつもみていたとあるブログでこんな書き込みがあった

「学校で、毎日毎日こじめられて学校に行けなくなりました。
死にたいです。死のうと思います・・・」

プロフィールをみると自分より4歳も年下の女子だ・・・

その後の文脈からみてマジだ!

他人のコメントには

「やつをと死ねば」

など、酷いことが書き込んであった・・・

胸が痛んだ・・・なんで死のうなんて考えるんだひつへそして
なんで死ねなんて言えるんだろう・・・

そして気付いた・・・自分もやうどあることを・・・

5年間・・一滴もでなかつた涙がこぼれた。

毎日のよひにみていた、唯一の楽しみのブログの作者が死のう
と書いている・・・

俺は気付いた・・・私は彼女を愛していたのだと、恋愛とかじ
やなくて、友達でもなくて、ただ彼女の書き込みが楽しみだった・
・

そんな彼女に死んでほしくなかつた・・・死にたいなんて書き込んで欲しくなかつた・・・

そして、コメントに書き込んでしまつた。

「俺は君を人として愛してる。死なないでくれ」

今、思い出すだけで恥ずかしい・・・なんであんなこと書いた
んだろう・・・

その後、私は彼女とのやりとりをはじめて、次第に外の世界に出れるようになった。眩しそうな太陽の光が目に入る時は歓び以外のなんでもなくなつた・・・。

現在、彼女は俺の隣でスヤスヤ寝ている。そう、俺と彼女は結婚した。今でも思い出す。二トだつたころを・・・

「君がいるから、俺がいる。」

「あなたがいるからわたしがいるのよ」

今でもやう言つて幸せに暮らしてゐる。

いま、もし死のうなんて考へてるやつがいるんなら、それは間違いだ！死ぬのはいつだって可能だが生きるのはそんなことじゃない。

太陽の光が差し込む地上に出ておいで、きっと誰かが君を愛しているから・・・・。

きっと・・・・きっと・・・・

(後書き)

死で生まれるのは悲しみだけですよ……これは、作者の友達の
実話です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5526d/>

ニートの涙

2010年10月8日13時02分発行